

第 2 期大野市子ども・子育て支援事業計画中間見直し（案）に係るパブリックコメントの結果について

1 パブリックコメントの実施状況

- (1) 案件名 第 2 期大野市子ども・子育て支援事業計画中間見直し（案）について
- (2) 募集期間 令和 5 年 2 月 2 7 日（月）から 3 月 1 2 日（日）までの 1 4 日間
- (3) 意見提出状況 提出意見：6 件、提出者：6 人、提出方法：書面 5 件、メール 1 件

2 意見の概要とその意見に対する市の考え方

| No | 意見の概要 | 回答（市の考え方） | 修正箇所 |
|----|---|---|-------|
| 1 | <p>出生数が減少し、子ども自体の数が減少しても、子どもへの取り組みは変えるべきでなく、現計画のままで着実に実行していただきたい。</p> <p>ただ、市の子育てに関する取り組みを市民がどれだけ認識しているかと考えると、情報発信は行っているにもかかわらず十分に伝わっていないように思われる。情報の伝え方について工夫してもらいたい。</p> | <p>地域こども・子育て支援事業の各事業について、実施状況や利用状況を確認し、見直しは行わないこととしましたが、今後、事業を着実に進めるために「中間評価」を実施し、「令和 5 年度以降の取り組みの方向性」を検討しましたので、それらに基づき実行していきます。</p> <p>情報発信については、手法などを検討し、伝わりやすい情報発信に努めます。</p> | ありません |
| 2 | <p>最近はお母さんが満 1 歳で仕事に復帰するお母さんが増えており、保育所等の 3 号定員が増えることは良いことである。</p> <p>ただ、人気の園に希望が集中し、入園できなかったなどの話しも聞く。また、コロナ禍で園開放に行きづらくなったとの声も聞くので、定員の状況など各園の情報を保護者が気軽に得られるようにしてもらいたい。</p> | <p>保育所等の利用ニーズに対応するために、認定区分ごとの定員を見直しました。</p> <p>本年度、保育所や認定こども園の紹介動画を作成し、配信するなどの取り組みも行っていますので、この取り組みを他の事業に拡大するなど、気軽に情報が得られるように取り組みます。</p> | ありません |

| | | | |
|---|---|---|-------|
| | <p>実際、支援センターを利用している他のお母さんから情報を得たこともあった。</p> | | |
| 3 | <p>夫の転勤で2年前に大野市に転入した。</p> <p>子どもは認定こども園に入り、大野市の自然に触れながら、様々なことにチャレンジしてきた。(サッカーやスノーボードなど)</p> <p>市の取り組みも大切だが、大野市の自然や環境を生かした「子育て環境」こそが、一番の子育てサービスであることを認識して、子育ての取り組みを進めてもらいたい。</p> | <p>大野市の自然や環境を生かした「子育て環境」をひとつの特徴と認識して、子育て応援ができるよう、今後の取り組みの参考といたします。</p> | ありません |
| 4 | <p>子育て支援の観点では給付金や医療費の助成、学費等の免除が多いが、ICT教育等の観点で、地域が子どもたちの未来を支援することは、全国的にも普及していない取り組みであり、大野市の子育て支援の差別化においても必要である。</p> | <p>さまざまな「学び」や「体験」を行うことは子どもの成長にとって大切なことであるので、今後の取り組みの参考といたします。</p> | ありません |
| 5 | <p>地元大野市にUターンした。</p> <p>子育て支援に力を入れてくださるおかげで市からさまざまな支援をいただき感謝する一方で、市内の保育園や幼稚園の情報を得るのに苦労した。</p> <p>保育園や幼稚園それぞれが公式webサイトを整備し、情報発信を行ってもらいたい。</p> <p>子育て支援でのICT化に力を入れていただきたい。</p> | <p>子育て世代の方からの要望を受け、大野市内の公園に関する情報や、市内公立・民間保育所等の紹介動画を市ホームページに掲載し、必要とされる情報の発信に努めてきました。</p> <p>ご意見のあった点については、情報発信の内容を検討するための参考といたします。</p> <p>ICT化の推進については、保育所等の入所や放課後児童クラブの利用申込、子ども医療の変更届などをオンライン化していますので、引き続</p> | ありません |

| | | | |
|---|--|---|-------|
| | | き、保護者の利便性の向上や業務の効率化を図るため、ICT化の推進に努めます。 | |
| 6 | <p>仕事で宿直をする時、実家の両親に子どもを預かってもらい大変だったと思う。発熱した際、病児保育の利用を考えたが、預かりは日中のみであり、利用はできなかった。ニーズはあまりないかもしれないが、24時間365日受け入れ可能な施設（受け皿）があると若い母親も安心できるのではないか。</p> | <p>現在の病児・病後児保育の受け皿を継続して確保できるよう、医療機関と連携を図ります。</p> <p>ご意見のあった、夜間の受け入れについては、まず、ニーズを十分に把握いたします。</p> | ありません |